

授業科目名： 初等教科教育法 （外国語）	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 2 単位	やまだ ゆうじ 担当教員名：山田 裕師 担当形態 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）「外国語」		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ 小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習・指導・評価に関する基本的な知識・指導技術を身に付ける。			
授業の概要 ・ 小学校外国語教育に係る背景や経緯等について理解する。 ・ 外国語活動と外国語科の目標等の違いについて理解する。 ・ 児童期の第二言語習得の特徴について理解する。 ・ 実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。			

授業計画

- 第1回：小学校外国語教育の変遷
第2回：小学校学習指導要領外国語の理解（小学校外国語活動・小学校外国語の目標等）
第3回：小・中・高等学校の接続と連携
第4回：少人数指導や児童の多様性に応じた指導の在り方（TT, ICT の活用）
第5回：第二言語習得の理解
第6回：言語材料の取り扱いとコミュニケーション活動
第7回：他教科との連携と活用
第8回：「聞くこと・話すこと（やりとり・発表）」の指導の在り方と情報機器の活用
第9回：「読むこと・書くこと」の指導の在り方と情報機器の活用
第10回：学習状況の評価と評価の方法（パフォーマンス評価。形成的評価）
第11回：学習指導案の作成①（あいさつ、Oral Introduction）
第12回：学習指導案の作成②（コミュニケーション活動）
第13回：学習指導案の作成③（評価の内容と方法）
第14回：学習指導案の作成④（教師の積極的英語使用）
第15回：初等教科教育法（英語）のまとめ（学習指導案の見直しと修正 他）
定期試験

スクーリングでの学修内容

スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

- （1） 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』（開隆堂）
（2） NEW HORIZON Elementary English Course ⑤（東京書籍）

参考文献

- （1）中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編
（2）高等学校学習指導要領（平成30年告示）

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）の割合で総合して評価する。